

9. 資本

資本主義社会の
メインプレイヤー

今回のキーワード

- ⊕ 市場社会vs. 資本主義社会
- ⊕ 企業社会=従業員社会

今回の課題

- ✓ 資本主義社会のメインプレイヤーを明らかにする。
- ✓ 企業と従業員との関係を明らかにする。
- ✓ 市場と企業との関係を明らかにする。

今回の内容

- ▶ 資本とは何か？
- ▶ カネモウケのプロセス

現代社会の決定的特徴

- 財貨・サービスが商品として生産されている。
 - 価値の生産
- しかも、営利企業によって生産されている。
 - 価値の増大は利潤

市場社会から資本主義社会へ

- 市場社会
 - オープンな流通部にそくして現代社会をつかまえた
 - 商品と貨幣のシステム
- 資本主義社会
 - “関係者以外立入禁止”の企業の中に入って現代社会をつかまえる
 - 資本のシステム

資本のイメージ

- **資本主義社会**と言うからには**資本が問題**
 - 資本のいろいろなイメージ
 - 企業, 会社, 生産手段, 会計上の資本など
 - 資本の共通のイメージ=カネモウケ

カネモウケ

- **カネ**と言うからには, **貨幣が問題**
- **モウケ**と言うからには, **たんなる貨幣ではなく, 貨幣が増えるということが問題**
 - 100万円投資したら, 150万円を回収する
- **貨幣は価値のかたまり**
 - 貨幣が増えるということは価値が増えるということ

システムとしての資本

- **資本主義社会**と言うからには, **資本が社会を成立させていなければならない**
 - システムとしての資本, 資本の社会システム
 - たんに個々の経済主体の手の中で価値が増えるだけでなく, 社会全体で見ても価値が増えていなければならない

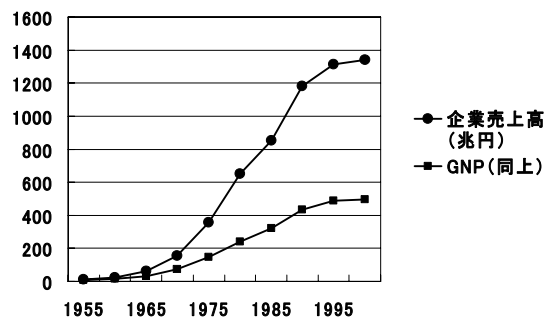
資本のいろいろなイメージ

- **企業**
 - モノの運動と労働の組織として資本を把握
- **会社**
 - 人格の組織として資本を把握
- **生産手段**
 - 資本存立の条件
- **会計上の資本**
 - 一定時点をとって資本を把握
- **株式(その他の有価証券)**
 - 現実資本と擬制資本とへの二重化

メインプレイヤー(1):企業

- **商品生産者**
 1. **資本主義的企業**
 - 多数の従業員を雇用する
 2. **自営業者**
 - 従業員を雇用せずに自ら働く
- **メインプレイヤーは資本主義的企業**

資本主義社会は企業社会



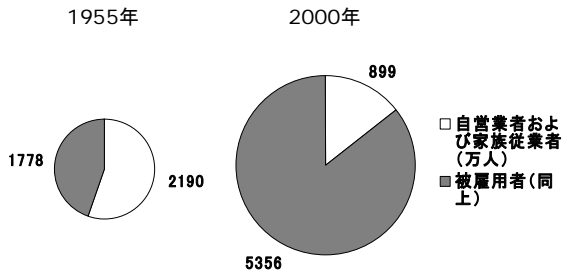
企業の二つの種類

- 企業の二つの種類
 - = 資本家 (= 出資者) の違い
- 1. 個人企業
 - = 自然人としての個人が資本家である
- 2. 会社企業
 - = たくさんの資本家が結合している
 - 合名会社
 - 合資会社
 - 株式会社

メインプレーヤー(2): 賃金労働者

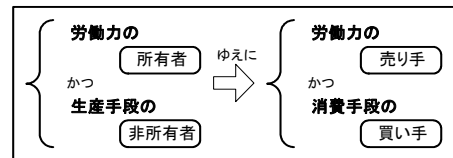
- その存在条件
 1. 生産手段をもっていない(非所有者)
 - ≠ 企業・自営業者
 2. 労働力をもっている(所有者)
 - ≠ 奴隷
- 労働力を時間ぎめで販売する
- 自由・平等な私的所有者

資本主義社会は従業員社会

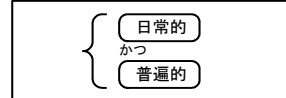


従業員社会の歴史的意義

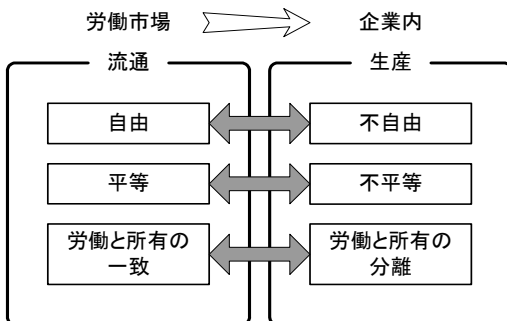
社会の構成メンバーの大部分が...



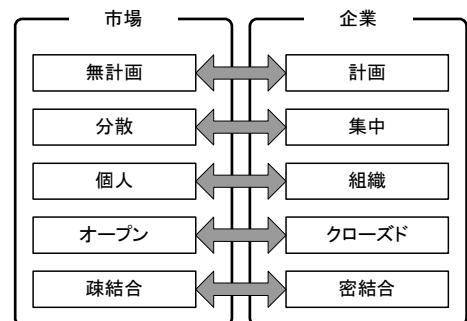
自由・平等の原理は...



企業と従業員との関係



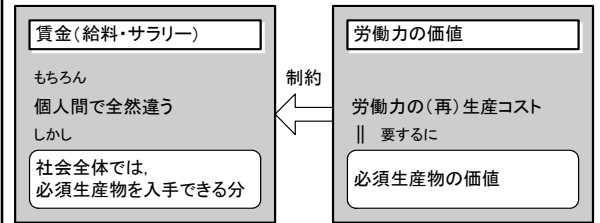
市場と企業: 編成原理



企業と従業員：商品・貨幣の流れ

企業	従業員
従業員から労働力を購買 (企業から生産手段を購買)	企業に労働力を販売
従業員に賃金を支払	企業から賃金を受取
従業員に消費手段を販売 (企業に生産手段を販売)	賃金の一部を消費して, 企業から消費手段を購買
従業員から資金を授受 (企業から資金を授受)	賃金の一部を貯蓄して, 企業に資金を提供

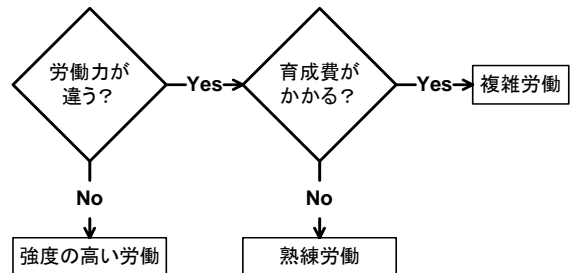
労働力の価値



熟練・複雑・高い強度の労働(1)

- 同じ時間内に高い価値を生む
- 1. 熟練労働
 - 何度もやって慣れました
- 2. 複雑労働
 - やる前にあらかじめ勉強しました
- 3. 高い強度の労働
 - 一所懸命、集中してやりました

熟練・複雑・高い強度の労働(2)



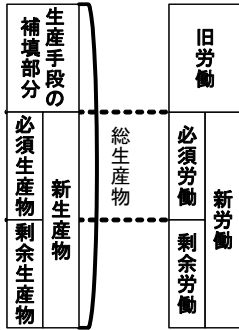
購買から生産へ

- 市場
 - オープンな社会的場面
 - 誰でも飛び入りOK
- 企業内
 - クローズドな私的領域
 - 関係者以外立入禁止

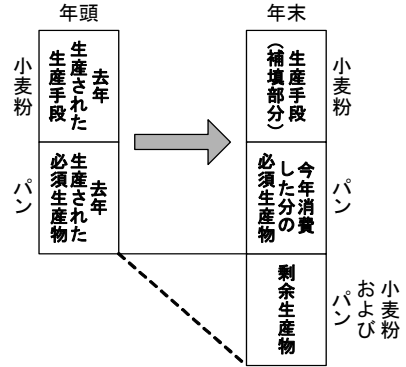
企業の生産

- 企業の、企業による、
企業のための生産
- 1. 企業が
- 2. 自分の生産要素を使って
 - 生産手段は企業のもの
 - 労働も就業時間内は企業のもの
- 3. 自分の商品を生産する

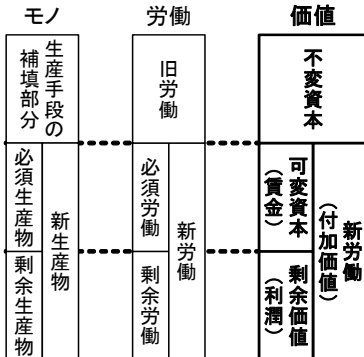
社会全体の 剰余生産物と剰余労働[復習]



時系列で見ると...



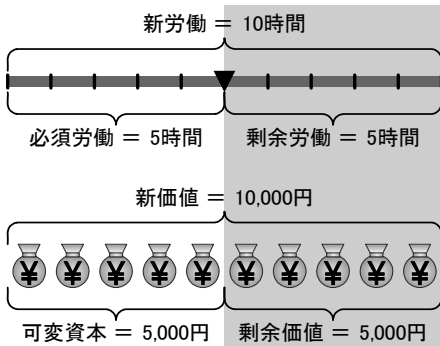
価値で見ると...



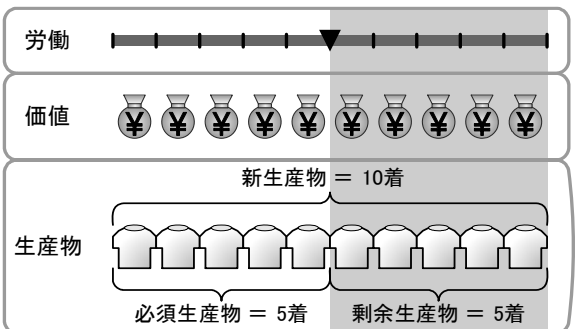
剰余価値(利潤)

- 剰余価値
 - 付加価値(新価値)と労働力の価値との差額
- 企業は、元手を上回る利潤として剰余価値を手に入れる

剰余労働と剰余価値



労働・価値・生産物



さまざまな指標

- 商品価値: $C + V + S$
- 付加価値(新価値): $V + S$
- 商品原価: $C + V$

今回の結論

- ❖ 資本主義社会のメインプレイヤーは企業と従業員である。
- ❖ 市場は企業が活動するための前提である。
- ❖ それにもかかわらず、市場の原理と企業の原理とは異なる。